

松阪市子ども支援研究センターだより

松阪市子ども支援研究センター 〈TEL. 26-1900 FAX. 26-1901〉

E-mail: kyo.div@city.matsusaka.mie.jp <http://www.city.matsusaka.mie.jp>

松阪教育支援センター「鈴の森教室」「三雲やまゆり教室」

〈TEL 26-1900 FAX 26-1901〉 E-mail: suzunomori@matsusaka.ed.jp

よろしくお願ひいたします

風薫る爽やかな季節もつかの間、記録的な早さでの梅雨の訪れに、子ども支援研究センター付近の木々の緑もひととき鮮やかさを増しています。各園・各学校におかれましては、コロナ禍において、子どもたちとともに知恵を出し合い、様々な工夫を凝らしながら教育活動を充実させるためにご尽力をいただいていることと思います。

当センターでは、本年度も、教育課題研究、教育の情報化、教育相談、教職員研修、教育支援センター（鈴の森教室・三雲やまゆり教室）、外国人児童生徒教育等の業務を担ってまいります。各学校・園での教育実践を身近で支援させていただけるセンターとなれるようスタッフ一同、精一杯努めてまいります。

本年度も、皆さまのご理解とご支援をよろしくお願ひいたします。

子ども支援研究センター本年度のスタッフです。1年間よろしくお願ひします。

原田 青子 (所長)	〈鈴の森教室〉 〈三雲やまゆり教室〉
楠本 誠 (指導主事)	三宅 美紀子 (教育支援センター指導員)
中西 祐司 (生徒指導係指導主事)	坂口 友視 (教育支援センター指導員)
脇 清人 (指導主事)	鈴木 理織 (教育支援センター指導員)
辻本 泰介 (人権教育係指導主事)	早川 尚子 (教育支援センター指導員)
本居 幸宣 (主幹)	
小坂 剛史 (情報教育担当主任)	〈NASS〉
水谷 哲士 (情報教育担当係)	小竹 多恵子 (不登校児童生徒支援員)
沖林 恵美子 (事務職員・相談員)	宮下 房子 (不登校児童生徒支援員)
伊藤 真理子 (長期研修員)	
西尾 泰亮 (長期研修員)	

本年度より、「GIGAスクール構想」実現に向けて、児童生徒一人一台のタブレット端末を活用した教育活動が本格的に始まりました。

すでに、各学校では、様々な準備や取組を進めていただいていることと思いますが、先生方には、「どのように授業でタブレットを活用したらいいのか」「どのような家庭学習をさせたらいいのか」「活用してネットトラブルは起きないのか」など、様々な不安や悩みもあると思います。

そこで、教育委員会では、「活用やルールについて」等の動画・資料を作成いたしました。(右上QRコードからご覧ください) また、本年度も希望に応じて受講できるICT活用教員研修を計画してまいります。これらを積極的にご活用いただきますようお願いいたします。

また、児童生徒や保護者を支援する教育相談の充実を図るため、各園・各学校、専門機関と連携しながら進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

(原田 青子)



教育相談体制の紹介

松阪市子ども支援研究センターでは、各園・各学校の先生方を支える取り組みを行っています。その一つが教育相談です。しかし、「こんなことで悩んでいるのだけれど、どうしたらいいのかわからない」と悩みを抱える先生は少なくないと感じられます。この機会に当センターの教育相談体制を簡単に紹介いたします。

1. 登校渋り・不登校に関係する悩み

☎ 0598-26-1900

(1) 「この子、なんだか最近遅刻しがち、登校渋りじゃ…」

早目の相談を。問題が大きくなる前に、動き出してください。

「こんなことで電話していいのかな…」と悩む前に、まずは連絡をください。

(2) 「学校に来れなくなってしまった…」

松阪教育支援センターに相談してみませんか。次の二つの教室があります。

○鈴の森教室・・・小集団の中で、元気を回復させ、学校復帰を支援

○三雲やまゆり教室・・・個人に寄り添い、元気を回復させ、学校復帰を支援

二教室を知っていると「保護者さん、こんな教室もあるよ、一緒に話を聞いてみようか？」などの声掛けもできます。センターは学校や担任と協力し、子どもや保護者の悩みに寄り添います。また、必要や状況に応じて「面接相談・電話相談・訪問相談」も行っています。

(3) 「どうやったらいいのかわからない、専門家の話を聞きたい。」

臨床心理士によるカウンセリング

不登校という事象には、多くの要因が複雑に絡み合っていることが少なくありません。「あの子、集団生活が難しいのだけれど、どのように学校生活の場で接していくとよいのか…」、方針が定まるだけでも気持ちはラクになります。また、保護者の思いや悩みを臨床心理士とのカウンセリングで解きほぐしていくことも、問題解決の一つの手段です。

(4) 「子どもが会ってくれない、会わせてもくれない…」 「引きこもってしまった…」

家庭への訪問面談ができる**不登校児童生徒支援員 (NASS)** がいます。学校とは違う立場からのアプローチで、学校や担任との関係を再びつなぐことができるかもしれません。

2. 保護者・児童生徒との関係や対応上の悩み

☎ 0598-23-7939

「この子・この保護者とはどう関わればいいのかしら？」

○広い見識と深い専門性をもった臨床心理士に相談してみるのも一つの手です。

○第三者の立場であるセンター職員に相談するのもよいかもしれません。ヒントが見つかるかもしれません。

★ご希望の書籍を購入します★

今年度も教育関係書籍の購入をします。希望の書籍がありましたら、電話やFAX、メールなどで、子ども支援研究センターまでお知らせください。

また、センター蔵書の貸し出しも行っています。1回の貸出期間は2週間です。当センターのホームページ「蔵書案内」を参考にして、お問い合わせください。

研究集録 ありがとうございました

たくさんの学校・園から研究（実践）集録を届けていただきました。

こちらは、当センターにて閲覧できますので、今年度の授業や研究にお役立てください。